

事業名	アマノリ養殖概況(増養殖技術研究)
予算区分	県単
事業実施期間	平成12年度～
担当者	(環境増養殖担当)笠井謙太郎
共同研究機関等	

<目的>

本県のアマノリ養殖業の生産状況を把握する。

<方法>

漁業者から生産状況について聞き取り調査を行うとともに、徳島県漁業協同組合連合会における共販実績を整理した。

<結果>

例年どおり育苗・本養殖が開始されたが、秋芽網の生産は不調であった。さらに本養殖開始後はユーカンピアの発生により漁場の栄養塩が減少し、色落ち被害が発生した。年内は食害の影響は少なかったもののまとまった生産には至らなかった。

県南の漁場ではケイ藻が多く発生し、12月中旬以降栄養塩減少に伴う色落ちが続いたものの、2月後半には色調の回復がみられた。北部漁場では1月後半から生産が増加し、栄養塩の増加した2月から色調が回復した。

徳島県漁連共販枚数の経月変化を図1に、年度別の共販枚数と平均単価の推移を図2に示した。令和4年度漁期の生産枚数は20,437千枚で前年とほぼ変わらなかったものの、有明海などの主産地が不作であったことを受け、平均単価は13.43円/枚と前年比164%に高騰した。

<今後の課題>

不作の原因を推定し、養殖指導の材料とする。

<次年度の計画>

引き続き生産状況の把握に努める。

<結果の発表・活用状況等>

特になし

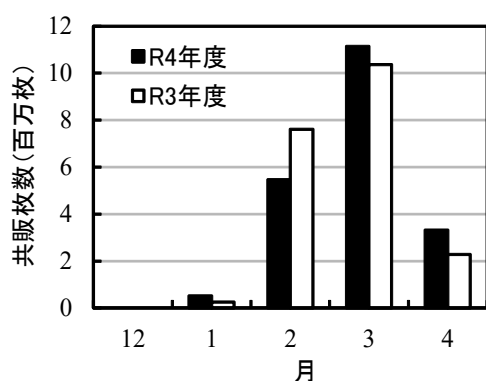


図1. 共販枚数の経月変化

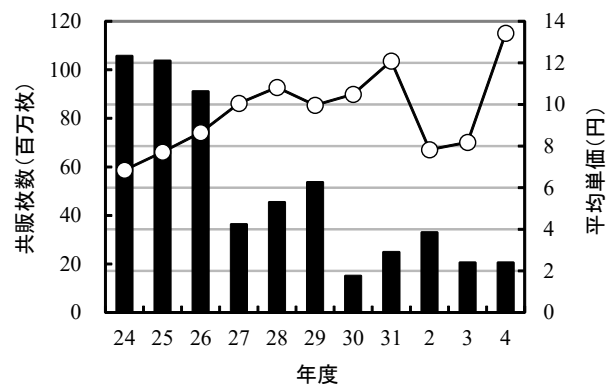


図2. 年度別共販枚数と平均単価の推移